

診断士会 News

No.2020-05

2020 年 10 月 22 日

鳥取県コンクリート診断士会

〒682-0025 倉吉市八屋 354-1

☎0858-26-2411 Fax0858-26-5537

URL⇒<http://www.tottori-acc.com/>

2020 年度 講演会

- ◆開催日時 : 2020 年 10 月 22 日(木) 13:30-17:00
- ◆場 所 : エキパル倉吉(倉吉市上井 195 JR 倉吉駅 1F)
- ◆参加者数 : 7 社、22 名

コロナ禍の中ではあったが、本年度の講演会を開催した。コロナ対策として、①座席間隔を開ける、②開口部を開放し、常時換気に努め、③検温、④消毒、など考えられる対策を実施した。

表-1 に示す予定表に従い、予定通り実施された。

表-1 予定表

13:30-13:35	開会挨拶	江原副会長
13:35-13:50	2019 年活動報告	奥村会長
13:50-14:15	倉吉市役所建設の記録 DVD 視聴	江原副会長
14:15-14:45	講演Ⅰ『塩害地域におけるプレテンション方式 PC 床版橋の変状事例』	西谷技術コンサルタント 前田 康弘氏
14:45-15:00		
15:00-16:45	講演Ⅱ『コア供試体における前養生、採取方向 および寸法などが強度試験へ与える影響』	米子工業高等専門学校建築学 科 教授 玉井孝幸先生
16:45	閉会挨拶	江原副会長



写真-1 会場の様子

【2019 年 鳥取県診断士会 活動報告】

コロナ禍のため、本会の本年度の開催を見合わせたことから、この機会を利用し、昨年度の活動報告が奥村会長から紹介された。

また、当会ホームページの改定点について江原副会長から紹介が行われた。



【倉吉市役所建設記録 映像 視聴】

本資料は、『倉吉市役所建設の記憶をたどる会 代表 生田昭夫氏』発行の『岸田日出刀・丹下健三と倉吉市庁舎』付属の DVD、約 20 分の映像を視聴した。

建設の経緯、建設工事の様子、竣工当時の様子が写真や 8 ミリ映像を交え紹介されている。

現場でのコンクリート製造の様子やコンクリート運搬・打設、型枠の準備の様子などが確認できた。また、作業は人力中心で機械化には程遠い中で建物が建設されたことが分かった。掘削・土砂運搬もほとんど人力であった。また、東大教授 岸田日出刀氏は東伯郡の出身であったことも紹介されている。岸田氏の代表的な作品は、東大安田講堂、倉吉市役所、高知県庁舎などである。

【講演Ⅰ『塩害地域におけるプレテンション方式 PC 床版橋の変状事例』】

本講演は、昨年度 JCD 業務体験発表会（高知市）にて報告が行われたものである。

西谷技術コンサルタント(株)前田康弘氏に講演いただいた。調査概要、調査結果、補修設計について具体的に紹介が行われ、大変参考になる事例であった。

海岸近接部に位置する橋梁の場合、海塩粒子のみならず波の影響でコンクリート中の塩分量が 16 kg/m^3 にも蓄積されていたことに驚かされた。また、橋梁点検に関する視点の紹介もあり、大変参考になる講演であった。



【講演Ⅱ『コア供試体における前養生、採取方向および寸法などが強度試験へ与える影響』】

本講演は、米子高専玉井研究室においてこの数年間実施された実験内容を中心とした報告であった。

普段、JIS A 1107 による試験をする機会が多いが、コア採取、コア直径、採取方向などと強度の関係について詳細な報告があり、調査を計画する上で大変参考になる講演であった。

活発な質疑や補足説明が行われ、理解が一層深まったように感じた。



また、休憩時会員同士の情報交換の様子が見られ、有意義な講演会になったと感じている。コロナ禍による様々な自粛や対策が必要とされている昨今であるが、フェイス トウ ファイスの交流が出来るようになる日が待たれる。

以上

講演会の様子



会場の様子



2019 年活動報告 (奥村会長)



講演 I (前田氏)



講演 II (玉井教授)



休憩時 会員同士の交流



講演会の様子